

# 金沢大学附属病院脳神経外科で 脳神経外科を受診した脳腫瘍の患者さんへ

## 「陰性運動ネットワークの術中モニタリングの意義についての検討」に関して

脳腫瘍の手術を行うと、正常な部分も摘出してしまふ、または傷つける可能性があるため、いろいろな後遺症が残ることがあります。覚醒下手術とは、手術中に目を覚まして、運動機能を含む様々な課題を行い、脳の機能を調べながら行う手術のことです。覚醒下手術は、脳の大切な機能を残しながら行える唯一の手術です。運動領域では、電気刺激に対して運動が誘発される場合と、運動が抑制される（陰性運動反応：いんせいいうんどうはんのう）場合があります。なお、電気刺激により運動が抑制される脳領域のことを陰性運動野と呼びます。電気刺激で運動が誘発された場合、その領域は術後の麻痺を回避するために温存しなければいけないことがよく知られています。一方、運動が抑制された場合、その領域を温存するべきか否かについてはよく分かっていません。

今回、陰性運動野の損傷と術後の麻痺の経過から、陰性運動ネットワークモニタリングの必要性について検討しました。本研究をとおして得られる結果は、術後の麻痺を回避しつつ、最大限に腫瘍を摘出する治療に大きく寄与することが予測されるため、脳腫瘍の手術を受けられる患者様、および脳腫瘍の手術に携わる人にとって大変意義のあるものとなると考えています。

これまで、当科における覚醒下手術は、施設認定を受け、通常の保険診療の範囲内で行っております。また、本研究は、**通常診療の範囲内**ですでに得られたデータを用いて後方視的な検討を行う研究です。なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、医薬保健研究域長の承認を得て行っているものです。

### 1. 研究の対象

研究の対象は2013年から2020年5月までの間に金沢大学で覚醒下手術を施行された方です。この研究に参加したくない方がいらっしゃいましたら、そのことをお申し出ください。その場合、あなたの資料を研究に供することはありません。

### 2. 研究の目的について

研究課題名：陰性運動ネットワークの術中モニタリングの意義についての検討

この研究では通常の保険診療の範囲内で行われた覚醒下手術に関する情報を用いて、陰性運動ネットワークの損傷と術後の麻痺の関連、および術中モニタリングの必要性を明らかにします。

### 3. 研究の方法について

この研究ではすでに本学において覚醒下手術を施行された方の診療記録の記載情報にもとづいて、陰性運動ネットワークの損傷と術後の麻痺の関連、および術中モニタリングの必要性を検討します。収集したデータと解析結果は学会や論文などに発表される事がありますが、個人情報公表されることは一切ありません。

### 4. 研究期間

この研究の期間は、金沢大学医学倫理委員会の承認日から2030年6月30日までです。

## 5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：

- ・ 年齢
- ・ 病理，腫瘍の遺伝子情報（IDH-1, 1p19q, MGMT）
- ・ MRI画像，病変の領域と範囲
- ・ 手術所見（陰性運動反応が得られた部位）
- ・ 術前，術後，術後3ヶ月の運動機能

## 6. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された情報は、外部へ提供することはありません。

## 7. 予想される利益と不利益について

この研究は診療記録より後方視的に得られたデータを統計解析する研究であり、この研究に参加してもあなたに直接の利益はありません。また、不利益もありません。しかし、個人情報の流出の可能性が全くないわけではありません。データの取扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

## 8. プライバシーの保護について

この研究はすでに得られている情報を用いるため、新たに個人情報を扱うことはありません。なお、診療記録より得た情報については、これまで実施してきたのと同様、研究に用いる情報に対応する番号をつけた一覧表を作り、データの調査には個人情報の含まれない対応番号のみを使います。また、これらの情報は鍵のかかる机に保管し、個人情報が流出することがないように、細心の注意を払います。また、この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがありますが、患者個人情報などが公表されることは一切ありません。

## 9. 研究参加に伴う費用の負担や通院について

この研究に参加することによる費用等の負担はありません。

## 10. 研究組織

研究責任者：金沢大学 脳神経外科学 教授 中田 光俊

研究分担者：金沢大学 脳神経外科学 講師 木下 雅史

金沢大学 リハビリテーション科学領域 助教 中嶋 理帆

## 11. 研究への不参加の自由について

あなたの情報が当該研究に用いられることについて、御家族・（患者さん本人の配偶者および本人の一親等以内の血族から協議し選ばれた方）の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2030年6月30日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

## 12. 研究に関する窓口

この研究の内容について、わからない言葉や、疑問、質問、自分がこの対象の対象になるかなど、更に詳細な情報をお知りになりたい場合は、ご遠慮なくいつでもお尋ねください。

研究機関の名称：金沢大学医薬保健研究域医学系

研究責任者：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

問合せ窓口：中田 光俊（金沢大学医薬保健研究域医学系教授）

住所：金沢市宝町13-1

電話：Tel: 076-265-2384 Fax: 076-234-4262